

UNZEN CITY COMPREHENSIVE PLAN

雲仙市総合計画

後期基本計画 数値目標達成状況

○将来像 豊かな大地・輝く海と
ふれあう人々で築く たくましい郷土

○将来像の実現テーマ
雲仙・山麓「食」・「遊」・「快」のくにづくり

○計画期間

基本構想	平成19年度～平成28年度
前期基本計画	平成19年度～平成23年度
後期基本計画	平成24年度～平成28年度



平成27年11月

- 基本方針① みんなでつくるまちづくり
- 基本方針② 快適で住みよい暮らしづくり
- 基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり
- 基本方針④ 力強い産業と仕事づくり
- 基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり
- 基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

雲仙市総合計画後期基本計画(平成24年度から28年度) 数 値 目 標 達 成 状 況

はじめに

雲仙市は、平成24年3月に「雲仙市総合計画 後期基本計画 2012→2016」を策定しました。この計画は、前期基本計画(23年度まで)の終了に伴い、経済情勢や社会状況など本市を取り巻く環境の変化を考慮するとともに、新たな課題について見直しを行い策定しております。雲仙市の将来の発展に向け、市民と行政が一体となって、活力と魅力あるまちづくりに取り組むための指針であり、市政の総合的な経営指針となっております。

雲仙市の将来像としては、「豊かな大地・輝く海と ふれあう人々で築く たくましい郷土」を掲げ、その実現のための6つの基本方針を設定しています。

このたび、この6つの基本方針にそって、各政策・施策の推進の成果を示す「平成26年度数値目標」の進捗状況をまとめましたので、市民の皆様へお知らせします。これは、平成28年度目標値(後期基本計画終了年)と平成26年度実績値を比較し、計画に対する取り組み状況を明らかにしたもので、目標達成に向けての進捗状況を示しています。

雲仙市総合計画の実現に向け、今後も計画の着実な推進を図っていきます。

達成状況

平成26年度のうちに目標を達成した数値目標は、110件中26件でした。
基本方針ごとの内訳は、次のとおりです。

基本方針	達成数	目標数
みんなでつくるまちづくり	5	16
快適で住みよい暮らしづくり	2	17
笑顔いっぱいの健康と福祉づくり	4	19
力強い産業と仕事づくり	5	26
新しい観光・交流による活力づくり	2	8
明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり	8	24
計	26	110

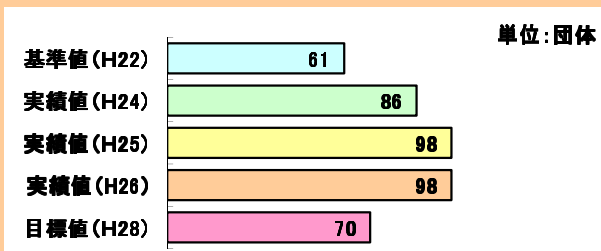
基本方針① みんなでつくるまちづくり

政策 1 参加と協働のまちづくり

地域コミュニティを守り育てる取り組みの推進と、NPOなどのまちづくり団体の育成や活動支援、イベント開催などを行います。また、市民の意見を市政に反映させる広聴活動を充実させます。

【001】地域づくり活動団体数

(市民窓口課)



◎説明

※目標達成!

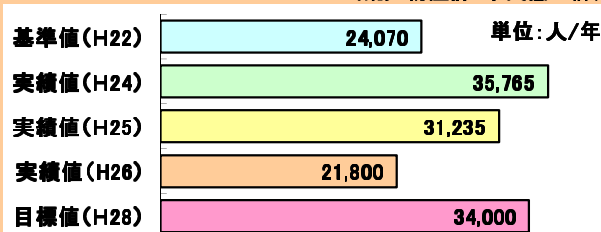
H18年度～H26年度地域づくり補助金活用団体数 86団体
地域づくりネットワーク登録団体数 12団体

(解説)

地域づくり補助金制度により、各種事業を実施した団体の累計及び地域づくりネットワーク協議会に登録している団体数。

【003】ふるさと産業まつり等への参加者数

(観光物産課・市民窓口課)



◎説明

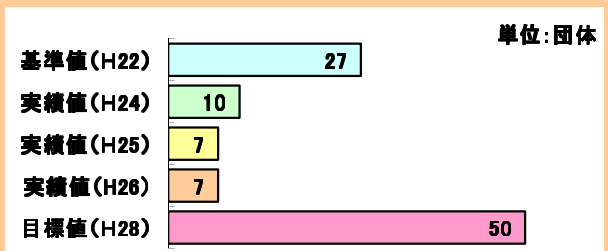
雲仙市産業まつり18,000人

雲仙市瑞穂特産品まつり3,800人

雲仙モーモーフェスティバルinみずほの中止

【002】NPO数およびボランティア活動センター登録団体数

(市民窓口課)



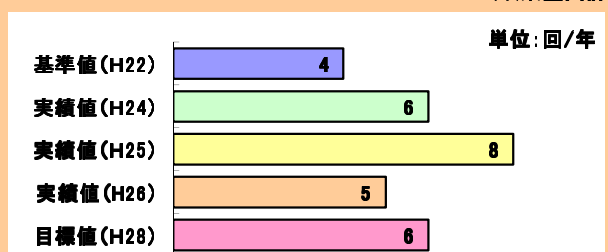
◎説明

NPO法人7団体

実績値については、指標対象であるボランティア活動センター登録制度の廃止により、活動指標はNPO団体数のみとなっている。

【004】市長による広聴活動数(H25年度～)

(政策企画課)



◎説明

(H26実績)

・障害者就労支援事業者との意見交換会

・物産販売事業者との意見交換

・第4回介護予防フォーラム意見交換会

・報道機関と市との意見交換会

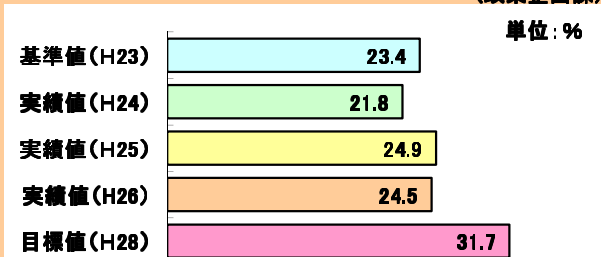
・雲仙市地域ふれ愛ささえ愛推進モデル事業情報交換会

政策 2 人権尊重・男女共同参画社会づくり

人権が尊重された社会を目指すため、研修会や情報発信などの普及啓発活動を推進し、偏見による被害・いじめ・DV等の未然防止と早期発見のための環境を整備します。また、男女とも主体的に参画できる社会づくりを目指し、政策方針決定過程への女性の参画の拡大など、男女共同参画を推進します。

【005】市審議会等における女性委員登用率

(政策企画課)



◎説明

地方自治法第202条の3に該当する審議会等数
(H26. 4. 1現在)

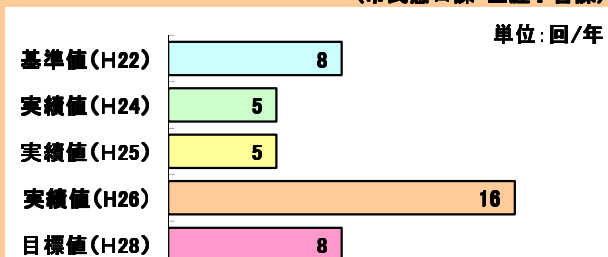
25団体中21団体

総審議会委員404人中99人(24.5%)

※各種審議会委員において女性を登用するよう、男女共同参画庁内推進会議を通じ、各部局へ働きかけを行った。

【006】人権啓発の普及活動実施数

(市民窓口課・生涯学習課)



◎説明

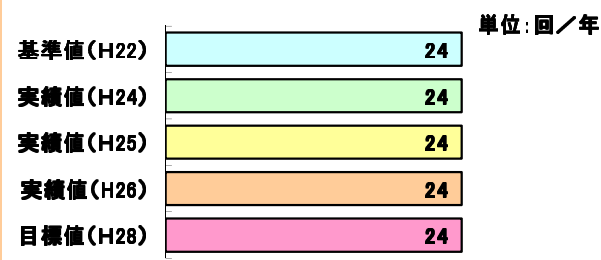
※目標達成!

・夢大使講演会 市内の小・中学校6校

・人権の花運動 市内の小学校6校

・人権紙ふうせん打ち上げ集会 市内の小学校4校

【007】人権相談所(よろず相談所・特設人権相談所)開設数
(市民窓口課)



※目標達成!

◎説明

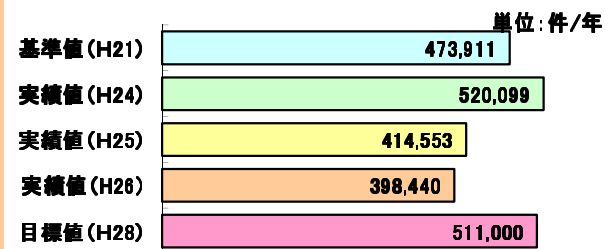
- ・よろず相談所10回
- ・特設人権相談所7会場×2回開催=14回

政策3 効果的で開かれた行政運営

職員の能力向上や行政運営基盤の強化を行い、市民の行政ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供します。また、多様な媒体を活用した情報の発信と公開を行うとともに、個人情報の適切な管理を行います。

【008】市ホームページアクセス件数

(政策企画課)

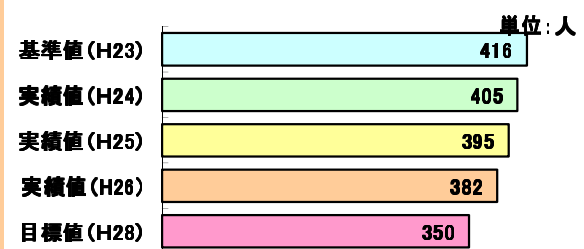


◎説明

インターネットを通じて24時間、雲仙市の情報を発信することにより、市政に対する理解を深めていただくとともに、雲仙市のさまざまな魅力についてPRを行っている。長い期間更新されないページのチェック等を行い、最新情報の発信に努めているが、アクセス件数は減少している。

【009】市職員数(一般職)

(行革推進室)



◎説明

定員適正化計画に基づき職員数の削減を図った。

(増加) 新規採用 19名

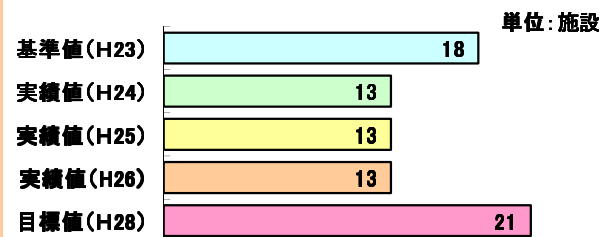
- ・雲仙市新規採用 8名
- ・ " 再任用 5名
- ・教員割愛(県) 3名
- ・国交省割愛 1名
- ・県職員人事交流 2名

(減少) 退職等 32名

- ・雲仙市職員 26名
- ・教員割愛(県) 3名
- ・国交省割愛 1名
- ・県職員人事交流 2名

【010】指定管理者制度の導入施設数

(行革推進室)



◎説明

平成26年度の指定管理者施設は「更新1件」のみで、新規はなく「増減なし」の結果となった。

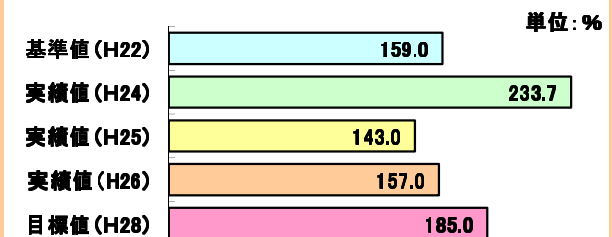
※H26更新施設

(雲仙市国見総合運動公園(遊学の里くにみ))

平成24年度から直営となっている「雲仙市瑞穂すこやかランド関係施設(5施設)」は、「千年の湯の施設修繕や源泉の安定供給の不安」などの問題を抱えたままの状況に変化がなく、26年度も指定管理者の公募を行うまでに至らなかった。

【011】市職員研修参加率(一般職)

(人事課)



◎説明

H26年度: $587人 / 371人 \times 100 = 157.0\%$

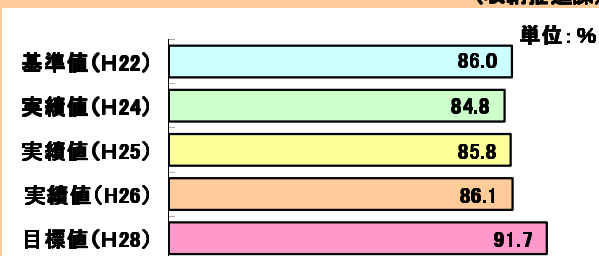
階層別: 23人 専門: 45人 中都市: 3人 自己研修: 2人 J I A M: 7人 アカデミー: 3人 N E R C: 3人 九州地方整備局: 1人 長崎県: 13人 職場研修: 487人

政策 4 健全で計画性のある財政運営

健全で計画的な財政運営を行うとともに、自主財源の確保や、市有財産の有効活用を行います。

【012】市税の収納率

(収納推進課)



◎説明

市税の滞納徴収については、徴収嘱託職員による納税折衝及び臨戸徴収や金融機関への集中預金差押えや国税還付金の差押などにより、一定の成果を上げた。

また、臨戸徴収から自主納付へ促し、一定の効果が現れてきている。

さらに徴収権の消滅時効分を不納欠損処理により滞納繰越総額の縮減を図り前年度より収納率が増となった。

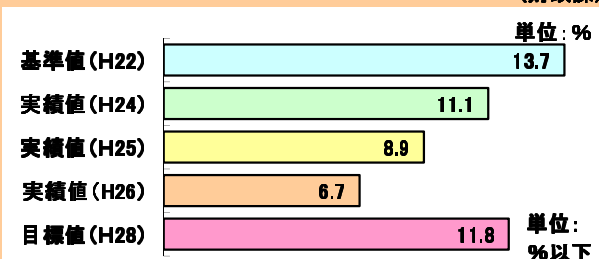
調定額 4,421,854千円・・・A
 収納額 3,768,308千円・・・B
 不納欠損額 44,948千円・・・C
 $B / (A - C) = 86.10\%$

現年度
 調定額 3,803,006千円・・・A
 収納額 3,703,895千円・・・B
 不納欠損額 189千円・・・C
 $B / (A - C) = 97.54\%$

過年度
 調定額 618,847千円・・・A
 収納額 64,413千円・・・B
 不納欠損額 44,758千円・・・C
 $B / (A - C) = 11.2\%$

【014】実質公債費比率

(財政課)



◎説明

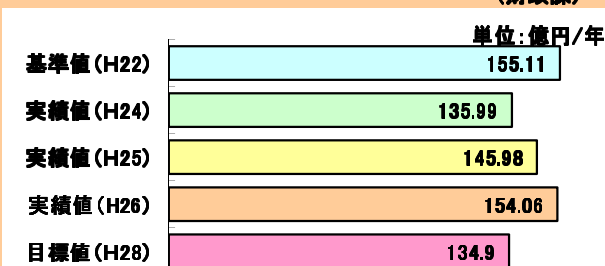
※目標達成!

公債費等の標準財政規模に対する割合であるが、公債費である地方債(借入金)の元利償還金及び債務負担行為等の準元利償還金の返済額がH25年度と比較し、約8,000万円の減。

また、公債費及び標準財政規模からそれぞれ控除する「普通交付税算入の元利償還金」が約1億8,700万円増となったことにより単年度比率で1.7ポイント、3ヶ年平均で2.2ポイントの減少となった。

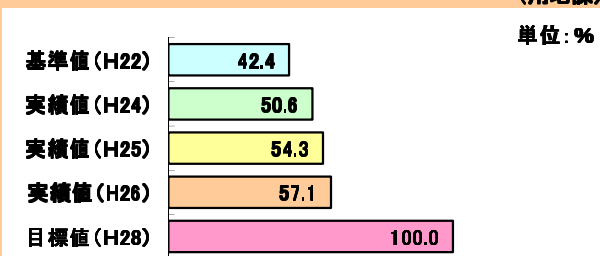
【016】義務的経費を除く歳出額

(財政課)



【013】公共用地のうち登記可能な未登記物件の登記率

(用地課)



◎説明

登記事務嘱託職員3名を配置し分筆登記、所有権移転登記を実施した。

相続関係で相続人全員の承諾が得られず、登記が進まない事例が多数見られた。

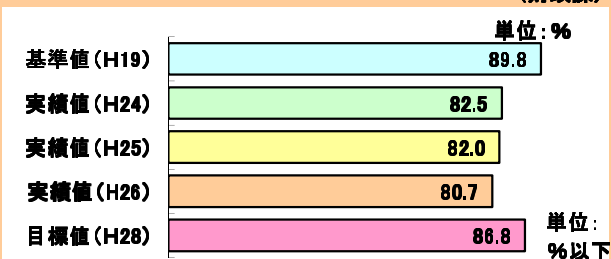
登記可能な未登記合計 10,500筆

登記完了数 5,997筆 (H26年度 296筆)

$5,997 / 10,500 \times 100 = 57.1\%$

【015】経常収支比率

(財政課)



◎説明

※目標達成

経常的に支出する経費に、地方交付税など経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率で、比率の減少要因としては、歳出において扶助費・物件費に充当した経常的一般財源で約2億7,900万円の増があるものの、人件費や定時償還元金・利子約3億4,400万円の減などにより、経常経費充当の一般財源全体で約4,200万円の減。

また、臨時財政対策債借入額が3億円増加したことにより、歳入の経常一般財源全体で約3億2,600万円の増となり、この結果、H26年度の経常収支比率は、H25年度と比較して1.3ポイントの減少となった。

【経常収支比率の計算式】

経常経費に充当した経常一般財源 (14,379,755千円) / 経常一般財源総額 (17,810,041千円) × 100 = 80.7%

◎説明

中期財政計画に基づく減債基金への積立金の増により、積立金全体で約4億円の増、庁舎整備事業や保育施設整備事業等の増により、投資的経費全体で約3億9,600万円の増となった。

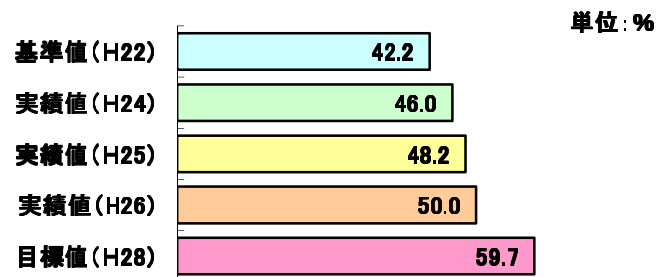
これらの影響により義務的経費を除く歳出額は、H25年度と比較し約8億800万円の増加となった。

政策1 快適で潤いのある生活空間づくり

上下水道や市営住宅、公園・緑地、海岸・河川・港湾、火葬場などの各種施設等の計画的な整備や維持管理を行います。

【017】水洗化率

(下水道課)

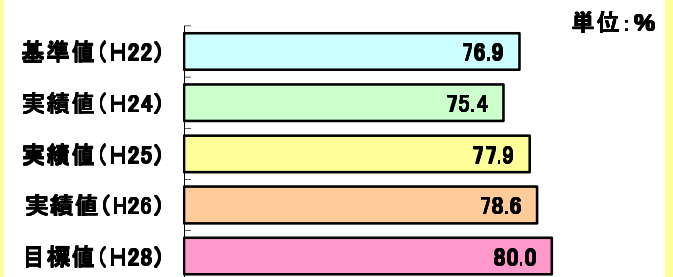


◎説明

H26年度 合併浄化槽人口(市型・個人型) 10,199人
 H26年度 小規模集合排水処理(愛野東地区) 71人
 H26年度 下水道事業 8,702人
 H26年度 農業集落排水事業 4,036人
 合計
 $23,008人 / 45,972人 \times 100 = 50.0\%$
 (H25年度より外国人登録含む)

【018】水道有収率

(水道課)



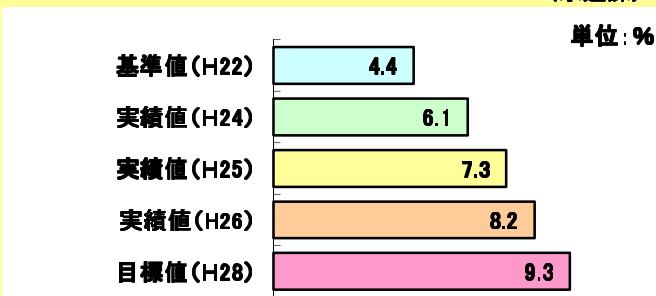
◎説明

H26 $4,501,427\text{m}^3$ (総有収量) $\div 5,729,424\text{m}^3$ (総配水量) $\times 100 = 78.6\%$

※有収率とは、給水する水量と料金として収入のあった水量との比率のことである。漏水などを未然に防ぐための広報などに努め、今後も安全な水供給にも努めていく。
 有収率の改善がされた理由としては、配水管布設替による効果並びに漏水の早期発見、早期修理を行ったことにより、前年度より有収率が向上したと考えられる。

【019】水道管耐震化率

(水道課)



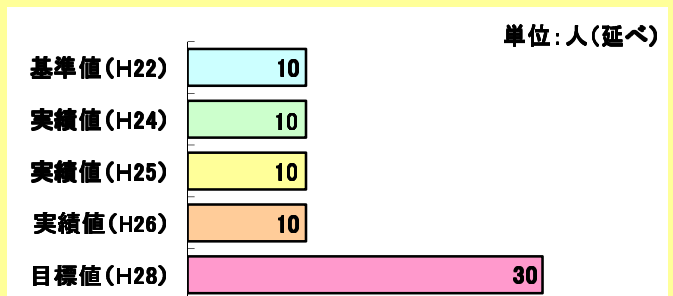
◎説明

(H26耐震化布設延長+H25までの耐震化布設延長) $\div$ 総延長=耐震化率
 $(5.1\text{km}+38.4\text{km}) \div 530.3\text{km} = 8.2\%$

※耐震化率とは、直下型地震又は海溝型巨大地震に起因する高いレベルの地震動に対しても壊れない配水管の布設総延長に対する布設率

【020】定住相談窓口への相談者のうち市内への定住者数
(合併からの累計者数)

(政策企画課)



◎説明

(根拠)
 H19年度3人+H20年度6人+H21年度1人+H22年度0人+H23年度0人+H24年度0人+H25年度0人+H26年度0人

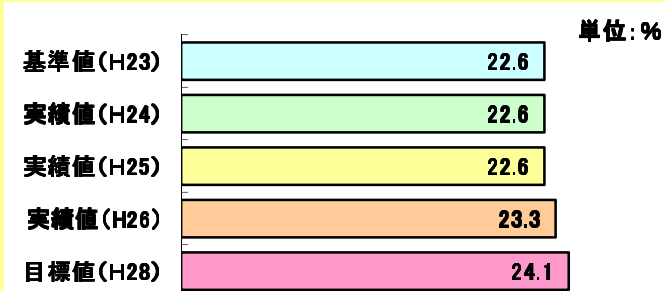
(解説)
 ※H26年度において、23件の相談を受けたが、いずれも定住へ至らなかった。
 ※移住者からは、空き家に関する問合せが多いが、市が把握している空き家に関する情報が少なく、移住者の希望に添えていない。
 ※「空き家活用促進奨励補助金」等定住促進事業を活用して、空き家の利活用を促進する。

政策2 災害に強い安心・安全なまちづくり

住民の防災意識の啓発の推進と、迅速で的確な防災情報の発信を行います。また、自主防災組織の育成・強化を図り、地域での防災訓練の取り組みなど自主防災体制のより一層の強化を図り、災害危険箇所の整備や消防防災体制の充実・強化など防災基盤の整備を推進します。

【021】急傾斜地崩壊対策事業整備率

(道路河川課)



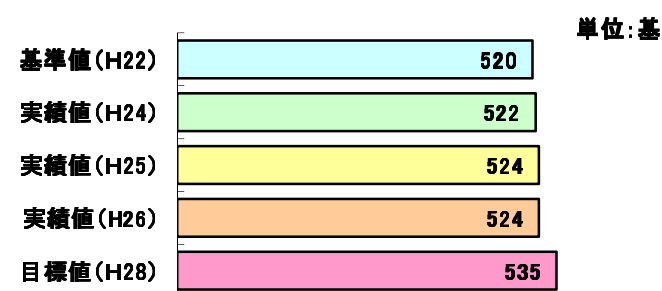
◎説明

(根拠) ※1 ※2
H26年度 32箇所/137箇所×100=23.3%

※1 崩壊対策施設整備済地区数
※2 崩壊危険箇所数

【022】防火水槽の設置数(20t以上)

(市民安全課)



◎説明

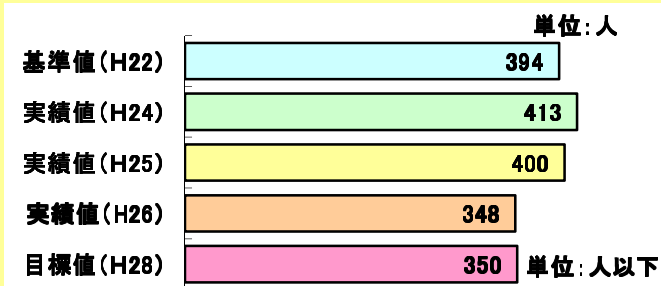
H26年度は、2基の耐震性貯水槽を新設(瑞穂、千々石)と1基の改良(吾妻)を行ったが、老朽化等に伴う更新であるため、実績値はH25と同数。

政策3 安心・安全な暮らしの実現

地域ぐるみの防犯活動や交通安全活動を推進するとともに、防犯施設や交通安全施設の整備・充実を図ります。また、安心・安全な消費生活を確保するため、消費生活センターを中心とした相談体制の充実に取り組むほか、市民意識の啓発を行います。

【023】交通事故による死傷者数 (市民安全課)

(市民安全課)



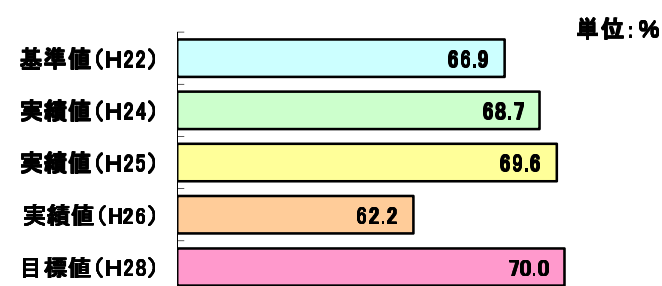
◎説明

※目標達成!

H26年は、死者数5名で前年より1名減少した。
負傷者数が343名であり、前年より減少した。
引き続き、交通安全協会などの各種関係団体と連携を深め、交通安全教室や啓発活動の充実を図り、交通事故防止に努めていく。

【024】狂犬病予防注射接種率(登録犬への注射実施件数)

(環境政策課)



◎説明

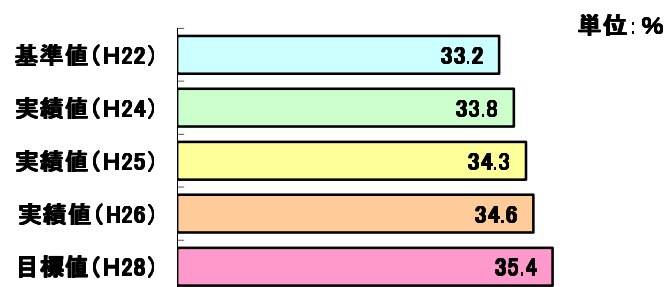
H26年度の犬の登録件数(2,824頭)の内、予防接種頭数1,755頭
(1,755[頭]÷2,824[頭])×100=62.2%

政策4 道路網の整備

主要道路の早期完成と、愛野・小浜バイパス道路整備の実現を目指します。また、生活道路網について、拡幅や急カーブの是正などの整備と、長寿命化のための補修・改良、バイパス道路の整備などを計画的に推進します。

【025】市道改良率

(監理課・道路河川課)



◎説明

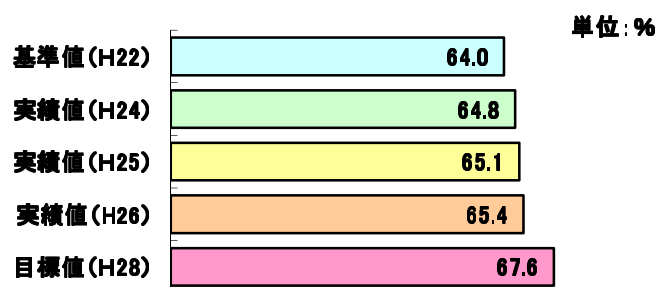
改良率＝改良済延長/実延長

$372,891\text{ km}/1,078,932\text{ km} \times 100 = 34.6\%$

※市道において、計画的に改良・舗装事業を実施した。

【026】幹線道路網整備延長割合(1,2級市道改良済み延長割合)

(監理課)



◎説明

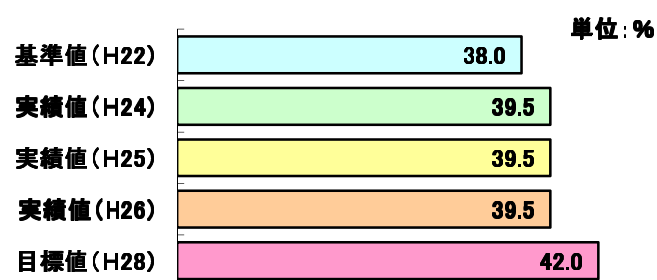
雲仙市内の幹線道路である1・2級市道として認定している路線は、191路線249,516mで、その内改良済みである路線は、163,277mで、改良率は65.4%となっている。

政策5 公共交通体系の充実

既存路線バスの維持・活性化の支援と、新交通システムの導入検討など、公共交通空白地域・交通弱者対策を展開します。また、本市の地理的特性を考慮し、交通ターミナル機能等の整備に取り組みます。

【027】バス停上屋整備率

(市民窓口課)



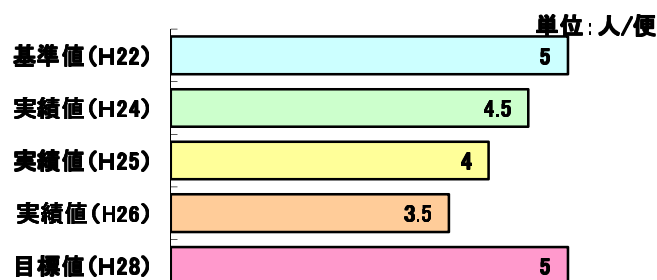
◎説明

【新規】0箇所

$81\text{ 箇所(設置済 バス停)} \div 205\text{ 箇所(バス停総数)} = 39.5\%$

【028】1便当たり利用者数(乗合タクシー運行路線利用者数)

(市民窓口課)



◎説明

年間利用者数: 24,602人

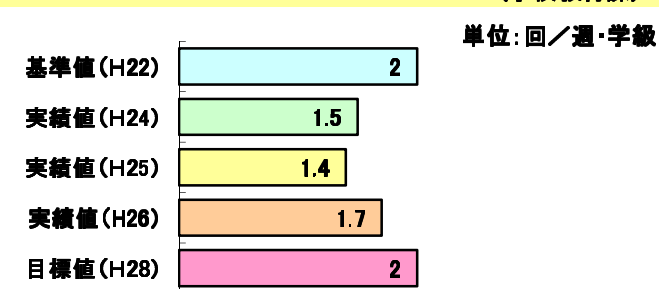
運行回数: 7,004回

$24,602\text{ 人} \div 7,004\text{ 回} = 3.5\text{ 人}$

政策6 高度情報化の推進

市民の立場に立った情報提供の充実を図るとともに、ICTを活用した市民サービスの提供について研究を進めます。

【029】学校教育支援システム(インターネット・TV会議)利用授業回数 (学校教育課)



◎説明

1.7回/週・学級 $\div$ 0.56+1.13
(内訳)

- ・電子黒板でのインターネット活用
0.56回/週・学級
- ・パソコン室でのインターネット活用
1.13回/週・学級

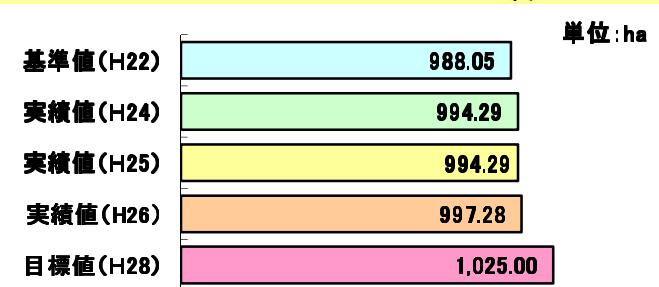
※いずれも各教科・領域・総合的な学習等での利用場面が教育課程に計画されている小学3年～中学3年のうち中学3年を除く学級数を基準に算出。(2月調査のため)

政策7 自然と共存する地域づくり

環境保全に関する意識啓発や活動に対する支援、森林の環境整備などを行います。また、循環型社会へ対応するため、ごみの減量化に努め、効率的なごみ・し尿収集・処理体制の構築や不法投棄対策の強化などを行います。

【030】保安林面積

(農林水産課)

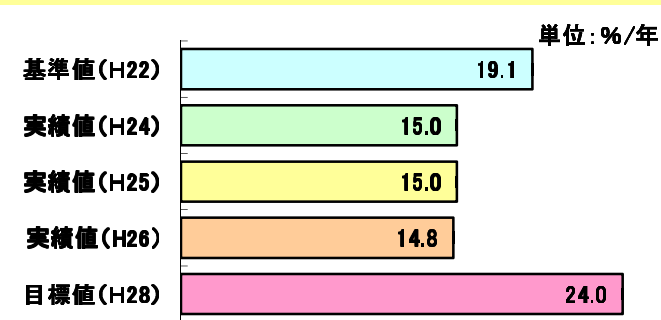


◎説明

H26年度において、2.99haが新たに保安林指定を受けた。
千々石町高野地区 (1.82ha)
小浜町木津地区 (1.17ha)
島原半島内で年間22haの保安林指定目標値があり、その数値を除いた7haを毎年指定する目標値とする。

【032】ごみの再資源化率

(環境政策課)

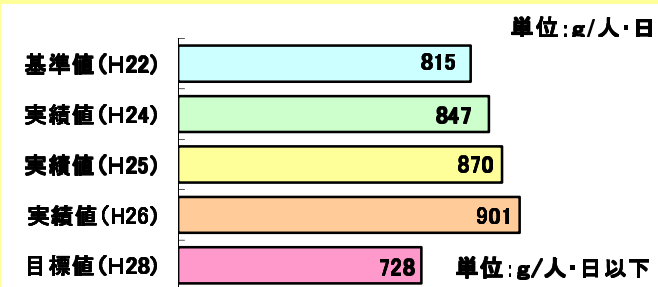


◎説明

H26年度ごみ処理量15,319tのうち、資源化量は2,268t (14.8%)である。

【031】1人1日あたりのごみ排出量

(環境政策課)

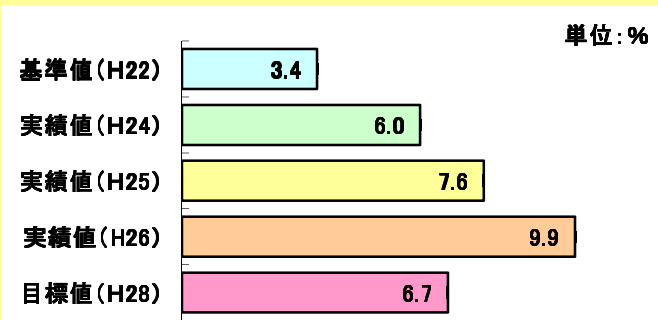


◎説明

H26年度ごみ排出量15,319tを総人口46,578人で除し、一日あたりに換算した一人一日あたりごみ排出量は901gとなる。
実績値増加は事業系ごみが5,271tから5,608tと増加したことによるもので、家庭系ごみは9,777tから9,711tへ減少している。

【033】太陽光発電の普及率

(環境政策課)



◎説明

H26年度実績
1,694(累計)/17,062世帯中の太陽光発電設置(太陽光発電需給契約書数)
1694件 $\div$ 17062世帯=9.9%

※太陽光設置数は事業用を含む

※目標達成!

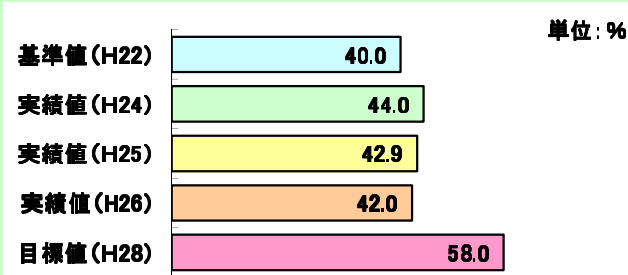
基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり

政策1 健康な地域づくり

食育の推進や各種健康教室の開催等により、『自分の健康は自分で守る』という市民の健康意識の向上に努め、各種健康診査による病気の早期発見・早期治療の推進に取り組むとともに、生活習慣病等の予防に努めます。医療においては、かかりつけ医をもつことの推進と救急医療体制を整備し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

【034】特定健康診査受診率

(市民窓口課・健康づくり課)

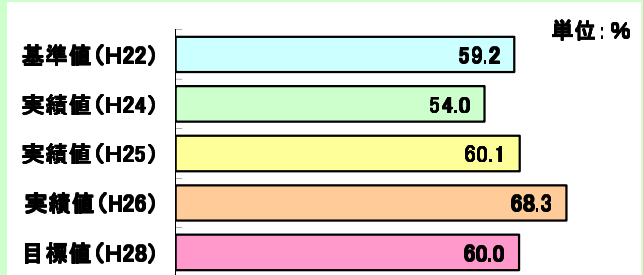


◎説明

- ・南高医師会に委託契約
- ・実施期間 平成26年5月9日～27年2月28日まで
- ・集団健診 50日(午前31日・午後19日)
- ・個別健診 44医療機関(雲仙市:21、南島原市23)
- ・人間ドック 13医療機関(雲仙市:5、南島原市8)
- ・対象者数 10,784人
- ・受診者数 4,524人
- ・受診率 42.0%
- ・特定健康診査(国保被保険者40～74歳)の受診者数により受診率を算出する。年度内の資格喪失者は、対象者数・受診者数から除き、職場健診者も反映される。

【035】特定保健指導実施率

(市民窓口課・健康づくり課)



◎説明

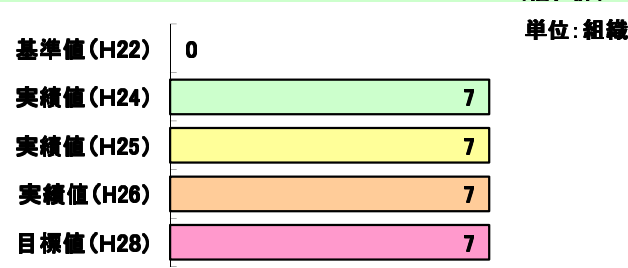
※目標達成!

- ・市の直営で特定保健指導を実施。
- ・初回面接で、健診データと生活習慣の関連について説明を実施し、6ヵ月間の行動目標と支援計画を作成。その後、個別に継続支援を実施し、行動目標の評価を行う。
- ・特定健診受診者(4,524人)のうち、
特定保健指導該当者 561人(12.4%)…①
- ・特定保健指導該当者①のうち、
初回面接終了者 340人(60.6%)
- ・特定保健指導該当者①のうち、
6ヵ月間の保健指導修了者383人(68.3%)
＝特定保健指導実施率

※平成27年10月15日確定値

【036】地域福祉連合会設置数(福祉課)

(福祉課)



◎説明

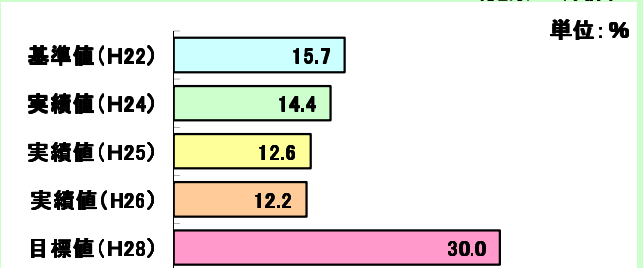
※目標達成!

地域福祉計画について市内全域で進めるため、各町を単位として設立。

※H24年度において達成

【037】胃がん検診受診率(健康づくり課)

(健康づくり課)

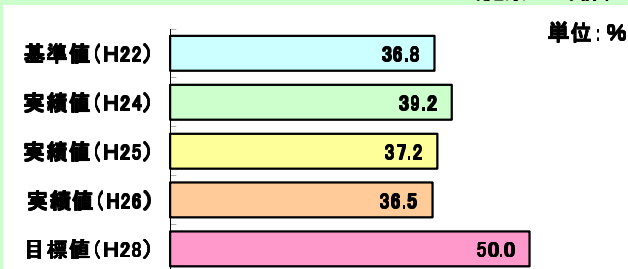


◎説明

胃がん検診の受診状況(H26年度)
受診者数: 2,118人(集団: 1,345人 個別: 773人)
対象者数: 17,358人
受診率: 12.2%
H25年度の受診率を0.4%下回った。
個別健診の受診者数が減少

【038】肺がん検診受診率(健康づくり課)

(健康づくり課)

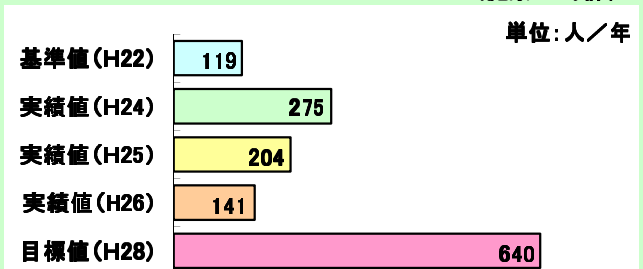


◎説明

肺がん検診の受診状況(H26年度)
受診者数: 6,337人(集団: 2,940人 個別: 3,397人)
対象者数: 17,358人
受診率: 36.5%
H25年度の受診率を0.7%下回った。

【039】若年者健診受診者数(健康づくり課)

(健康づくり課)



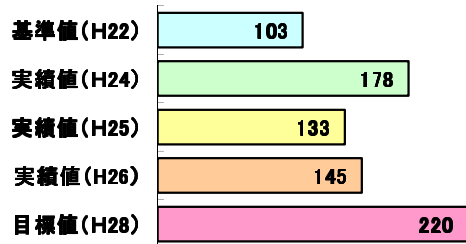
◎説明

若年者健診の受診状況(平成26年度)
受診者数: 141人(集団: 77人 個別: 64人)
周知方法として、「健康診査のお知らせ」の世帯配布、20・25・30・35歳の節目対象者へ個別通知等実施したが、H25年度受診者数の69.1%で減少した。

【040】歯周病予防健診受診者数

(健康づくり課)

単位: 人/年



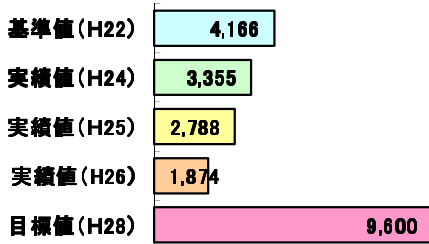
◎説明

H23年度より対象者を40歳から70歳の5歳ごととして実施。目標受診率を対象者4430人の5% (220人) としているが、H26年度は、H25年度より12名の増加となったが、目標を達成できなかった。

【042】食生活改善推進事業の生活習慣病予防事業への参加者数

(健康づくり課)

単位: 人/年



◎説明

雲仙市国民健康保険加入者40歳から74歳を対象にした特定健診の問診「朝食を抜くことが週3回以上ありますか」の設問で「はい」と答えた人の割合

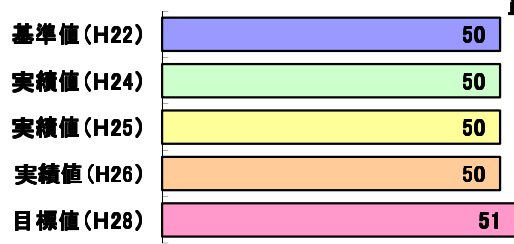
(解説)

雲仙市健康づくり計画「健康うんぜん21」の食生活取組テーマに則った指導、特定健診後の特定保健指導や結果説明会時の指導などを年間通じて実施しており、H26年度の間診結果では、男性8.8%、女性4.9%であった。

【041】公共施設へのAEDの設置数

(健康づくり課)

単位: 箇所



◎説明

雲仙市役所庁舎(本庁及び各総合支所)、小中学校、保健・福祉施設、公民館、社会体育施設等 市内50箇所に設置済

◎説明

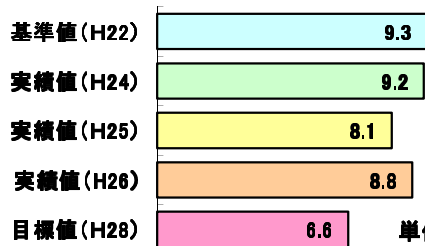
食生活改善推進員による健診受診の勧奨や食生活改善に関する情報伝達等、生活習慣病予防の集会参加者数を計上。

H25年度の参加者数を下回った。活動区分で「高齢者の健康・食生活」が増加しており、そこでも生活習慣病予防の活動をしている。また、食生活改善推進員による対話訪問による受診勧奨・生活習慣病予防に関する情報伝達活動も実施している。
(H25年度 6,481人⇒H26年度5,835人)

【043】朝食を食べない人の割合(男性)

(健康づくり課)

単位: %

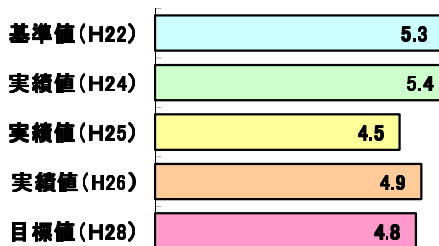


単位: %以下

【044】朝食を食べない人の割合(女性)

(健康づくり課)

単位: %



単位: %以下

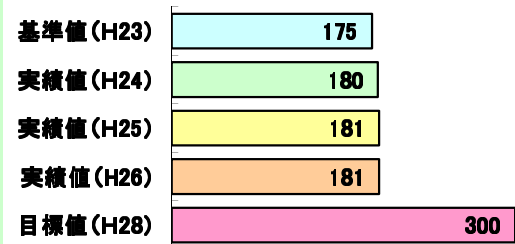
政策2 安心できる高齢社会の実現

介護予防教室等の充実により、介護状態への移行や重度化を防ぎ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者を見守り支えあう地域づくりを推進します。また、高齢者が進んで社会参加できる環境づくりに取り組みます。

【045】シルバー人材センターの登録会員数

(福祉課)

単位: 人



◎説明

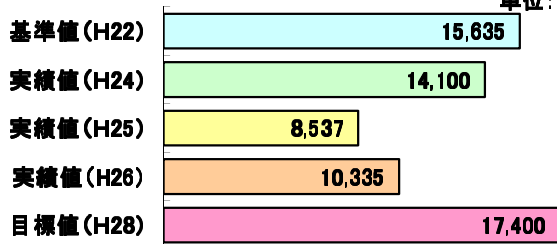
登録会員は、毎年度更新になっており、H26年度の総加入登録会員は207人であったが、年度末までに26人の退会があり、181人となった。

会員加入説明会については、年間18回行った。

【046】介護予防教室への参加者数

(福祉課)

単位: 人/年

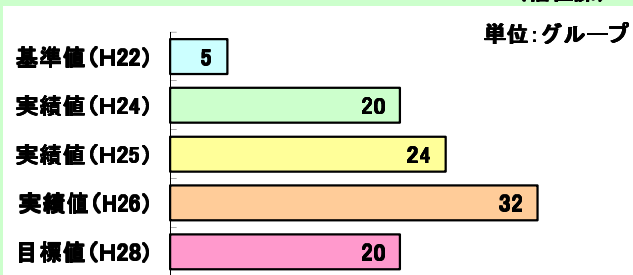


◎説明

H26年度は「介護予防教室」を新規に5ヵ所立ち上げたことで、参加者が前年度に比べ1,798人増加した

【047】自主的な介護予防グループ数

(福祉課)



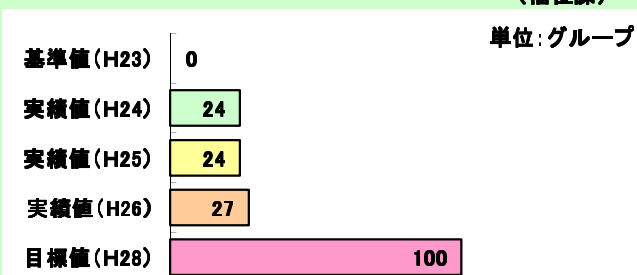
◎説明

※目標達成!

H26年度も引き続き自主的な教室に移行するための支援を行い、要望があがった5自治会の教室を立ち上げ、自主的な介護予防グループ数を増やすことができた。

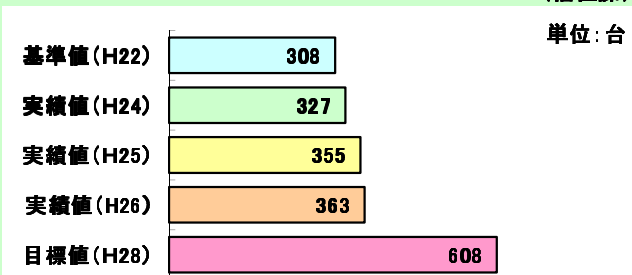
【049】高齢者の見守りネットワーク協力団体数

(福祉課)



【048】緊急通報システムを必要とするひとり暮らし世帯の利用台数

(福祉課)



◎説明

H25年度末の実利用台数355台、H26年度中の新規設置台数50台、撤去台数42台で実利用台数が8台増加した。

◎説明

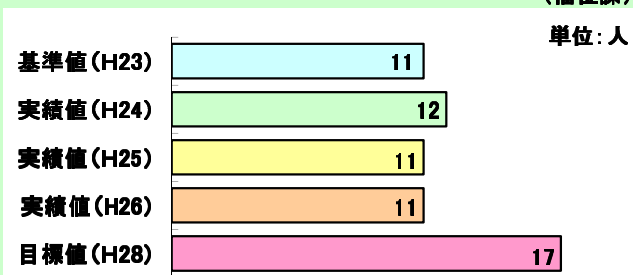
H26年度は、新たに3事業所と「雲仙市高齢者等見守り活動に関する協定書」を調印、締結を行った。

政策3 誰もが安心して暮らせる社会の実現

すべての市民が地域の中で安心して暮らせる社会を実現するため、相談体制を充実させ、医療、就労、施設整備などの幅広い分野において支援を行い、要援護者の自立と社会参加を促進します。

【050】手話奉仕員養成講座受講者数

(福祉課)

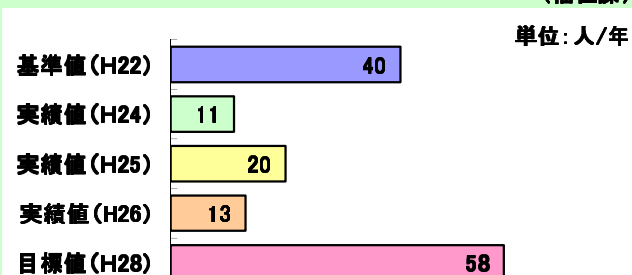


◎説明

平成26年度手話奉仕員養成講座(入門課程)受講者11名(基礎課程受講予定11名)

【051】障害者就業・生活支援センター支援による就業者数

(福祉課)

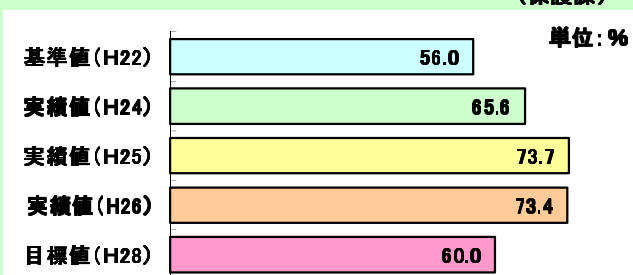


◎説明

知的障害者9人、精神障害者3人及び発達障害1名障害者就業・生活支援センターの支援により就職した。

【052】稼働年齢層への就労支援による就労率

(保護課)



◎説明

H26年度 80人(就労者数)÷109人(就労支援者)×100=73.4%(解説)

生活保護費を受給している求職者へ、ハローワークからの求人情報の提供を行うなどの支援を行った。H26年度においては、対象者109人のうち、80人が仕事に就かれた。

※稼働年齢層: 一般的に15~64歳の仕事をする年齢層を指す。

※就労者数: 就労時間が1時間以上の者の数

※目標達成!

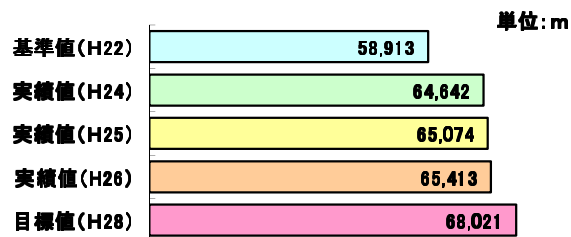
基本方針④ 力強い産業と仕事づくり

政策1 足腰の強い農林業の推進

農林業生産基盤整備の推進や、認定農業者・集落営農組織など担い手の育成に努め、農業生産の安定のためイノシシの防護策の設置促進や、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の防疫対策を推進します。あわせて、農地や農村集落、森林の環境保全に努めます。

【053】農道整備延長(幅員が4m以上の農道)

(農漁村整備課)

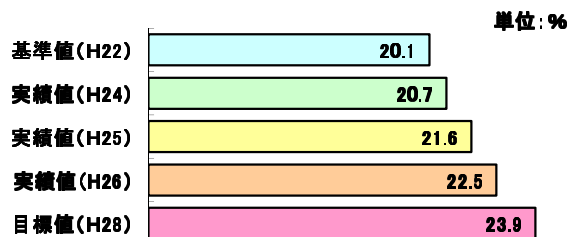


◎説明

田之平農道 L=339m

【054】畑(区画)の整備率

(農漁村整備課)



◎説明

【県営農地整備事業】

・八斗木地区整備面積: 11.90ha

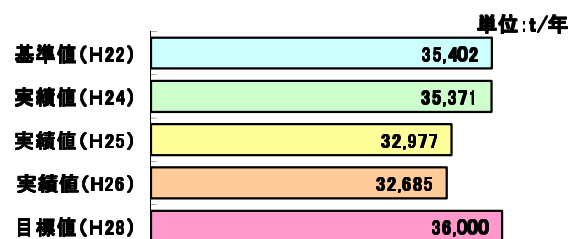
・山田原第2地区整備面積: 11.50ha

・合計: 23.40ha

$621.45\text{ha}(\text{整備済面積}) \div 2764\text{ha}(\text{畑総面積}) \times 100 = 22.5\%$

【055】主要作物産出量(パレイシヨ)

(農林水産課)



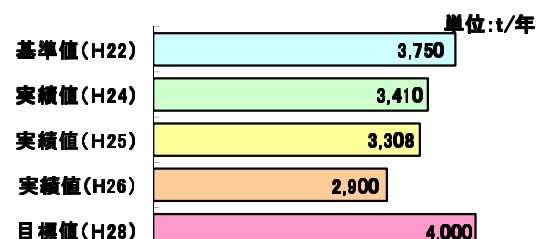
◎説明

『馬鈴薯生産流通事情調査』(H26春作及び秋作)等により生産量を調査し算出した。

軽量作物への転換が進み、生産量が減少傾向にある。

【056】主要作物産出量(イチゴ)

(農林水産課)

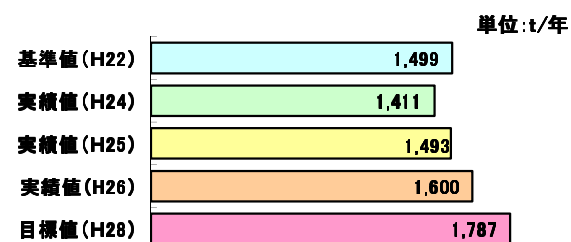


◎説明

全農ながさき販売実績等により算出した。平成26年産については、日照不足等により収量が例年より大きく減少した。しかしながら、全国的に数量が少なかったことから、販売単価は高水準で推移した。

【057】特用林産物産出量

(農林水産課)



◎説明

市内にある3施設において、菌床栽培による生しいたけの生産を行っており、年間3%増の生産を目標とする。

※H26年度特用林産物生産統計調査実績より

吾妻しいたけ生産組合 784t

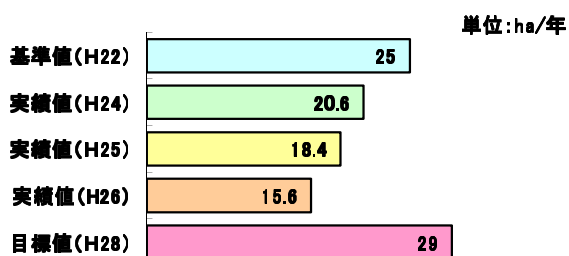
雲仙しいたけ生産組合 784t

長崎能力開発センター 32t

合計 1,600t

【058】耕作放棄地の解消面積

(農業委員会)



◎説明

市担当部局と連携して耕作放棄地解消を図った。

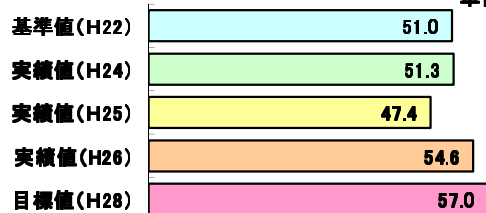
補助事業解消面積 1.0ha

自主解消等面積 14.6ha

【059】担い手等への農地集積率

(農業委員会)

単位: %/年



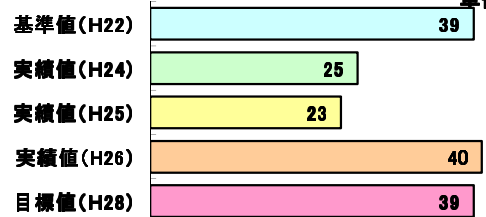
◎説明

農地の有効利用を促進するため、認定農業者等担い手への農地集積を図るとともに、農地の借受者に対して一部補助を行った。また、平成26年度から始まった農地中間管理事業を推進した。
 $2,624\text{ha}$ (認定農業者等の経営面積) $\div$ $4,806\text{ha}$ (農地面積) $\times 100 = 54.6\%$
 ※農地面積: 農林業センサス

【061】新規就農者数 (農林水産課)

(農林水産課)

単位: 人/年



◎説明

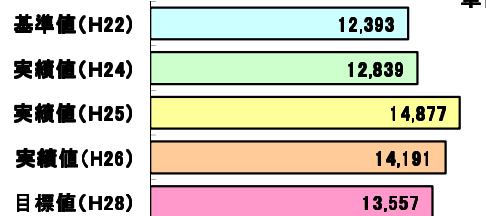
島原振興局及び各総合支所と連携し、情報を共有している。

※目標達成!

【063】飼養頭数(肉牛)

(農林水産課)

単位: 頭/年



◎説明

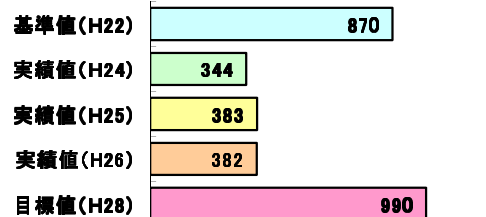
燃油・飼料の高騰並びに子牛の高止まり等に伴う経営圧迫により飼養頭数が減少した。(4.1調査より)

※目標達成!

【065】エコファーマー認定者数

(農林水産課)

単位: 人



【060】認定農業者数

(農林水産課)

単位: 人



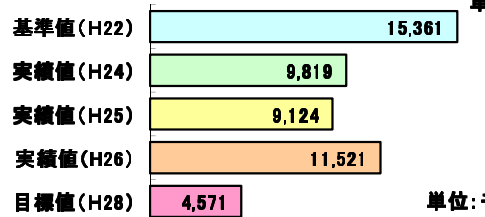
◎説明

高齢や後継者不足の理由により、辞退者は多かったものの、新規の認定が若干数多かったため2名の増となった。
 新規: 29人
 辞退者・認定切れ: 27人

【062】有害鳥獣による被害額

(農林水産課)

単位: 千円



◎説明

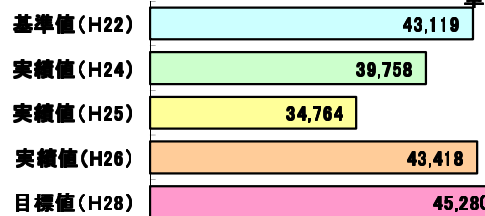
H26年度雲仙市有害鳥獣による農作物被害調査結果より(自治回覧による)

単位: 千円以下

【064】飼養頭数(豚)

(農林水産課)

単位: 頭/年



◎説明

飼養農家数は微減したが、飼養頭数は前年度報告頭数より微増した。(4.1調査より)

◎説明

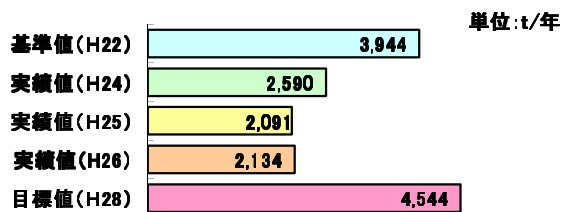
JA等の主要な生産部会では多くが既認定となり、認定者の増加は落ち着きつつある。
 新規・更新: 33人
 認定切れ: 34人

政策2 豊かな水産業の振興

水産資源の維持増大のため、栽培漁業や資源管理型漁業の定着を図るとともに、養殖漁業を推進します。また、漁業担い手の確保のための取り組みを推進します。

【066】漁獲量

(農林水産課)

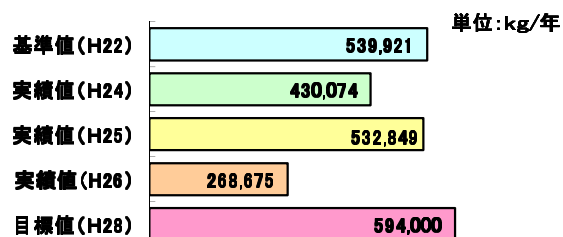


◎説明

昨年に引き続き、環境の変化（貧酸素・高水温等）に伴う水産資源が減少したことにより昨年度並みとなった。
有明漁協多比良支所 3t、国見漁協 25t、瑞穂漁協 2t、橘湾東部漁協 2104t 計 2,134t

【068】養殖漁業による生産量(ノリを除く)

(農林水産課)

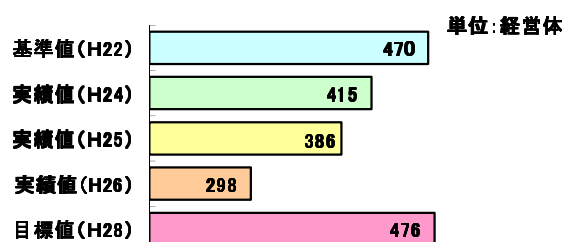


◎説明

瑞穂漁協のカキ漁獲量は増加したが、ハマチ出荷量が減少。
瑞穂漁協 81,675kg、橘湾東部漁協 187,000kg
計 268,675kg

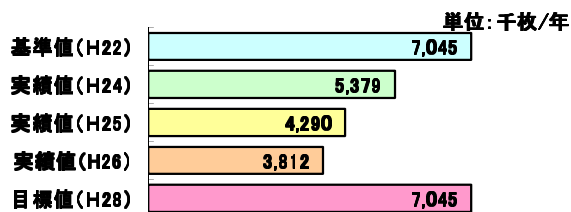
【070】漁業経営体数

(農林水産課)



【067】養殖漁業による生産量(ノリ)

(農林水産課)

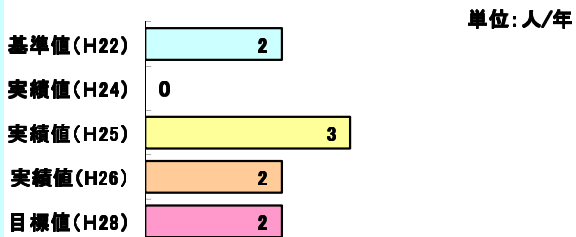


◎説明

種付期に台風が続いたため、生産量が減となった。
瑞穂漁協726千枚、国見漁協 2,362千枚、有明漁協多比良分 724千枚 計 3,812千枚

【069】漁業担い手確保推進事業による新規漁業就業者数

(農林水産課)



◎説明

※目標達成！
漁業担い手確保推進事業を活用した新規漁業就業者数は2名であった。

◎説明

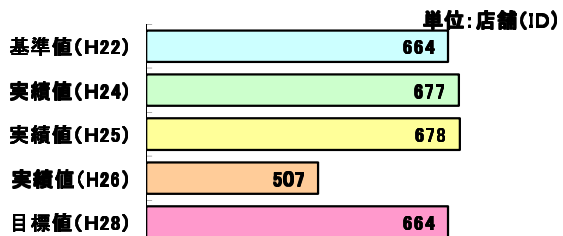
高齢化による一本釣り経営体の廃業等のため、経営体が減少した。
橘湾東部漁協 179、瑞穂漁協 58、国見漁協 44、有明漁協多比良分 17 計 298経営体

政策3 魅力ある商工業の振興

商店街が自発的に取り組む活性化に向けた活動支援や、地域資源を活かした新商品・新サービスの開発等を推進します。また、金融支援策等により経営基盤の安定化を図ります。

【071】商工会ホームページで情報提供する商店等の数

(商工労政課)

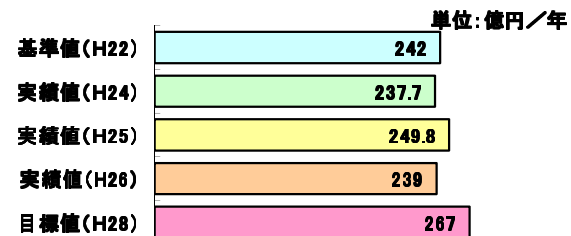


◎説明

雲仙市商工会が運営するホームページ「雲仙まるごとネット」に登録している商工会委員、団体等の数
(平成26年度商工会において、精査をした結果、昨年度171件減)
平成27年度商工会各支所により登録の勧誘に取り組む。

【072】市内製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)

(商工労政課)



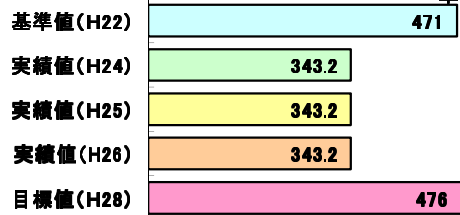
◎説明

製造品出荷額 231.8億円
その他の収入額 7.2億円
※H25工業統計(27年4月10日公表)

【073】市内年間商品販売額

(商工労政課)

単位: 億円/年



◎説明

卸売業 117.0億円

小売業 226.2億円

※H24経済センサス (H24年2月1日調査)

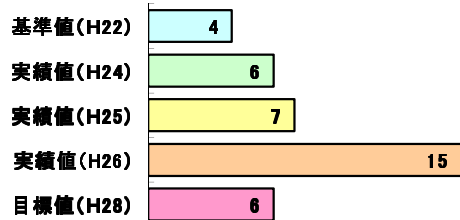
H26経済センサスが現在調査中のためH24が最新の数値

政策4 雲仙ブランドの確立

雲仙ブランドの確立と更なる浸透を図るため、安定した生産基盤の確立や、高付加価値型農業への取り組みを推進します。また、アンテナショップ等を活用し、大都市圏の消費者へのPRや販路拡大への取り組みを推進します。

【074】首都圏スーパー等での「雲仙市特産品販売コーナー」の設置店舗数 (観光物産課)

単位: 店舗



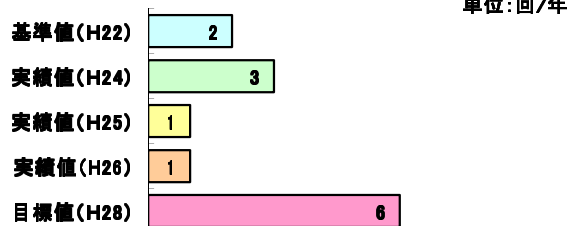
◎説明

※目標達成!

夢彩都(野菜)、ジョイフルサン(野菜、2店舗)、ダイエー(野菜、2店舗)、西鉄ストア(野菜、農産加工品、10店舗)

【076】アンテナショップ「キトラス」における商談回数 (観光物産課)

単位: 回/年



【075】市外での雲仙市物産フェアの開催数 (観光物産課)

単位: 回/年



◎説明

県内11回(うち市内5回)、福岡市1回、東京都2回、横浜市1回、大阪市1回、西宮市1回

◎説明

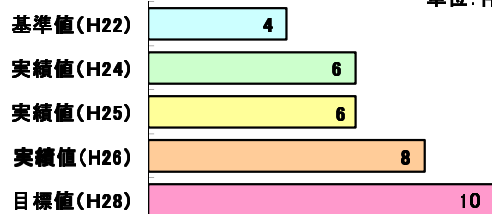
H26.11.14 長崎・佐世保・雲仙ゆめキトラス第5回こだわり食材商談会(6社)

政策5 地場産業振興と企業誘致による雇用の創出

資金貸付制度等を活用し、地場産業の育成や規模拡大に努め、関係機関との連携や、本市独自の優遇制度を活用した企業誘致を推進します。また、地元での就職を促進するため、就職情報の提供や就職相談を強化します。

【077】雲仙市における企業誘致及び増設件数(合併からの累計件数) (商工労政課)

単位: 件(延べ)

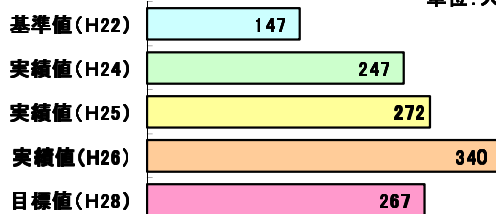


◎説明

H19年度1件、H20年度1件、H21年度1件、H22年度1件、H23年度2件、H24年度0件、H25年度0件、H26年度2件

【078】企業誘致等に伴う新規雇用創出数(合併からの累計件数) (商工労政課)

単位: 人(延べ)



◎説明

※目標達成!

H19年度誘致事業において35人、H20年度16人、H21年度57人、H22年度39人、H23年度69人、H24年度31人、H25年度25人、H26年度68人がそれぞれ雇用された。

(根拠補足)

H26年度 68人

三貴工業㈱

㈱ババ商店

㈱ユーコーエステート

㈱ミカド観光センター

㈱雲仙湯けむりファーム

浜観ホテル

平湯リゾート

13人

3人

6人

3人

6人

25人

12人

基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり

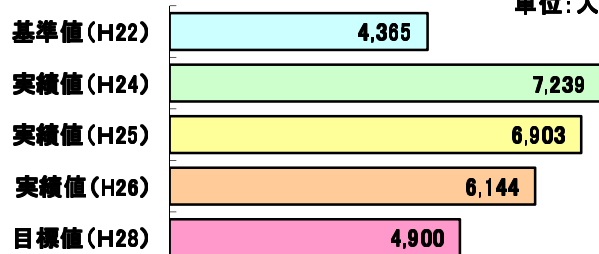
政策1 地域資源を活かした観光の振興

本市の豊富な地域資源を活かした体験プログラムを充実させるとともに、ガイドやインストラクターの育成によるおもてなし力の向上を図るなど、魅力的な観光地づくりを推進します。また、効果的な情報発信を行うとともに、修学旅行客や外国人観光客の誘客に取り組みます。

【079】体験型観光の参加者数

(観光物産課)

単位: 人/年



◎説明

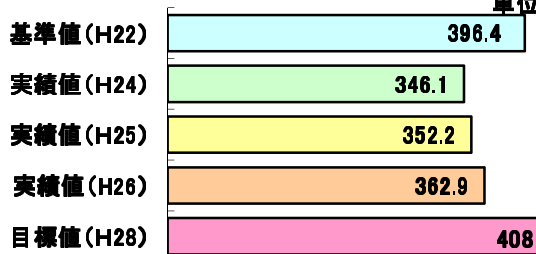
※目標達成!

修学旅行による体験受入数の減(修学旅行生数の減)。

【080】観光客数 (観光物産課)

(観光物産課)

単位: 万人/年



◎説明

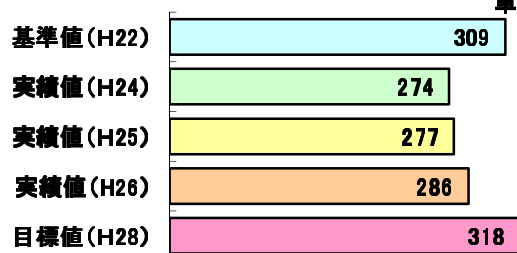
宿泊客延滞在数については、長崎がんばらば国体の開催やホテルの新規オープン等に加え、外国人観光客の増加により前年を上回った。

日帰り客数は、長崎がんばらば国体開催や雲仙温泉街の好調により増加した。

【081】観光消費額(観光による経済波及効果)

(観光物産課)

単位: 億円/年



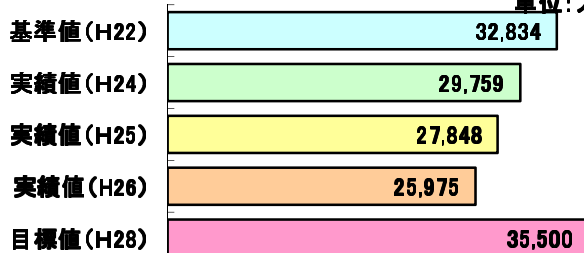
◎説明

宿泊客増に伴う観光消費額の増加及び日帰り客増による観光消費額が増加した。

【082】修学旅行宿泊者数

(観光物産課)

単位: 人/年



◎説明

学校数の減に伴い、人数が減少した。

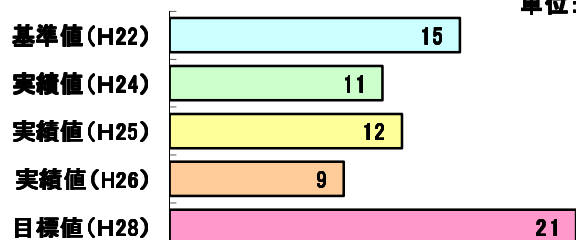
H25年度273校⇒H26年度238校

少子化の影響により、1校当たりの児童・生徒数の減少も影響した。

【083】コンベンション誘致件数

(観光物産課)

単位: 件/年



◎説明

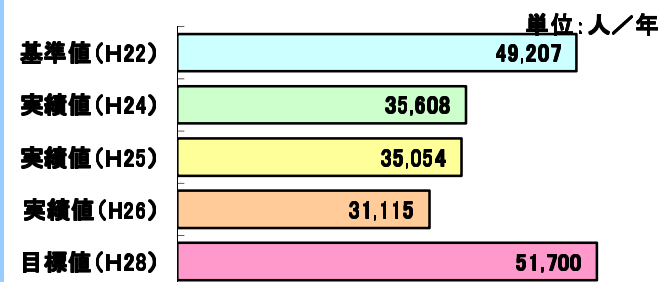
天候による参加者減に伴い、対象外となった大会があった。

政策2 地域間交流の推進

プロスポーツチーム等の合宿やスポーツ大会関連事業の誘致に取り組むとともに、スポーツ大会や産業まつり等の交流イベントによる交流促進に取り組みます。また、国内・国際交流を推進し、交流活動の活性化に取り組みます。

【084】市内公共施設を活用したスポーツ交流や合宿人数

(生涯学習課)

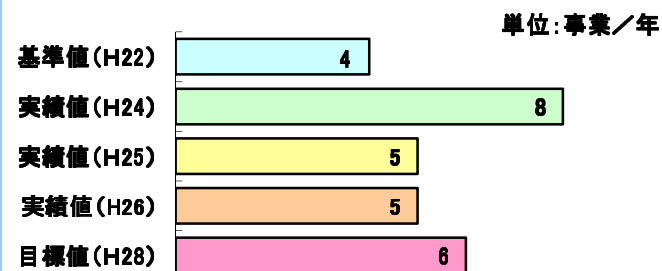


◎説明

雲仙市内公共施設を活用した大会等を開催したが、目標には達しなかった。
 【遊学の館】合宿等 3,834人、イベント9,165人
 【すこやかランド】合宿等2,437人、イベント15,679人

【085】姉妹都市等による国内・国外交流事業数

(観光物産課)

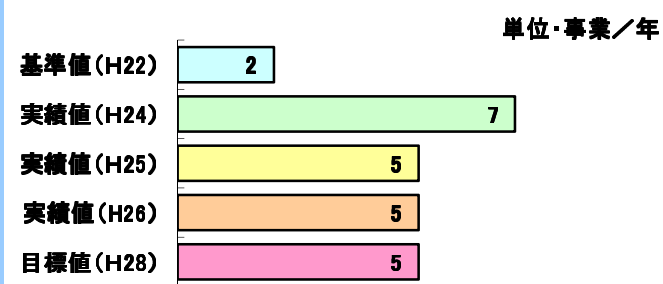


◎説明

天正遣欧少年使節国内交流事業、雲仙市中学生派遣事業、求礼郡中学生招聘事業、市民団体派遣事業（1団体）、求礼郡守来市

【086】国際交流関係事業数

(観光物産課)



◎説明

国際交流員を活用した広報紙掲載事業、国際理解講座開催事業（幼稚園、保育園等訪問）、異文化理解講座開催事業（韓国）、留学生連携事業、市民連携国際交流事業

※目標達成！

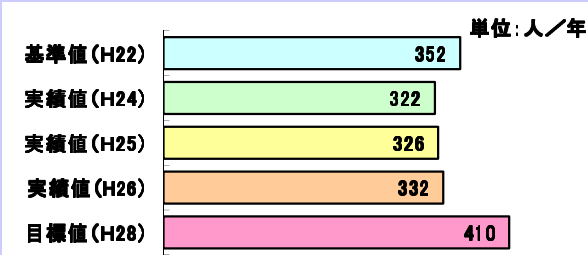
基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

政策1 健やかな子育て対策

子育てを支援する拠点づくりに取り組むとともに、市民が仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境づくりに努めます。また、子どもを安心して生み育てられるよう支援するとともに、市民参加による子育て支援に努め、子どもたちが健やかに育つための環境づくりに取り組みます。

【087】学童保育利用登録者数

(子ども支援課)



◎説明

平成26年度の登録児童数は、332人であり、基準年度(H22)比: △5.7%、目標年度値比: △19.0%であった。今後も、少子化・核家族化の進展や夫婦共働き世帯の増加など需要は高いと考えられるので、登録児童数は増えていくものと考えられる。

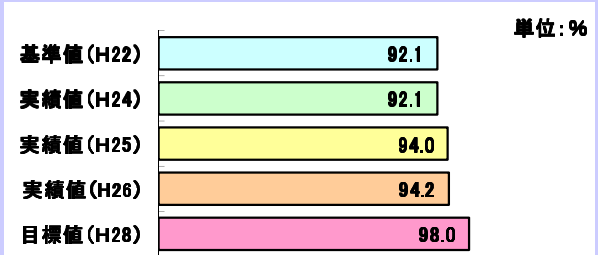
クラブ別登録児童数

サンサンクラブ(国)43人 おおぞらクラブ(国)20人
 けやきっ子クラブ(国)24人 ピーターパンクラブ(瑞)13人
 ハッピークラブ(吾)28人 なかよしクラブ(吾)18人

コスモスクラブ(愛)103人 マウントクラブ(千)25人
 小浜クラブ(小)45人 ひまわりクラブ(小)13人

【088】3～4か月児赤ちゃん健康相談受診率

(子ども支援課)



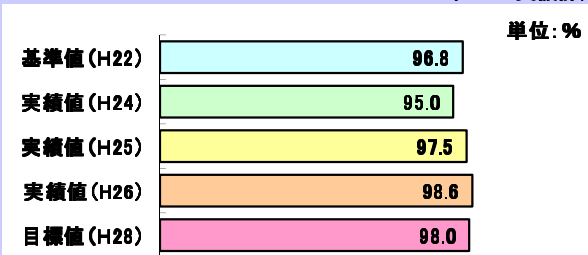
◎説明

H26年度は、対象者345人に対して受診者が325人で94.2%であった。個別通知や母子保健推進員による声かけにより、90%以上の受診率を保っている。

未受診者には、訪問および電話等で状況を確認し、対応している。未受診の理由としては里帰り、体調不良(入院中)、保護者の都合等であった。

【089】1歳6か月児健診受診率

(子ども支援課)



◎説明

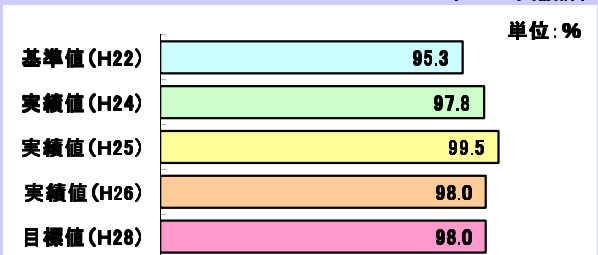
※目標達成!

H26年度の受診率は、対象者358人に対して受診者が353人で98.6%と、前年度から1.1%増加。

未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で連絡をとって状況を聞いたり、受診勧奨を行っている。本年度は目標値に到達しているが、今後も引き続き、受診率向上を目指していきたい。

【090】3歳児健診受診率

(子ども支援課)



◎説明

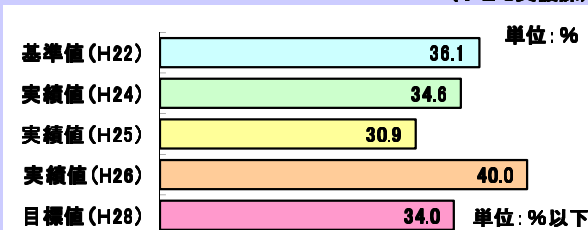
※目標達成!

H26年度の受診率は、対象者347人に対して受診者が340人で98.0%と、前年度から1.5%減少。

未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で連絡をとって状況を聞いたり、受診勧奨を行っている。今後も引き続き、受診率向上を目指していきたい。

【091】3歳児のう歯罹患率

(子ども支援課)



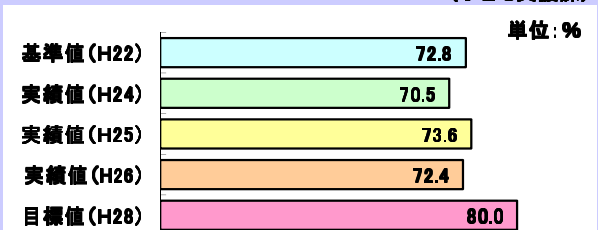
◎説明

H26年度は受診者340人のうち、う歯がない人は204人、う歯がある人が136人で、う歯罹患率は40.0%と、前年度より9.1%増加している。

その年によって罹患率にバラつきがある状況であり、県平均値より以前高い水準にあるので、目標値以下を達成できるよう、今後も歯科保健事業の推進により、う歯罹患率の減少を目指していきたい。

【092】2歳児親子歯科健診受診率

(子ども支援課)



◎説明

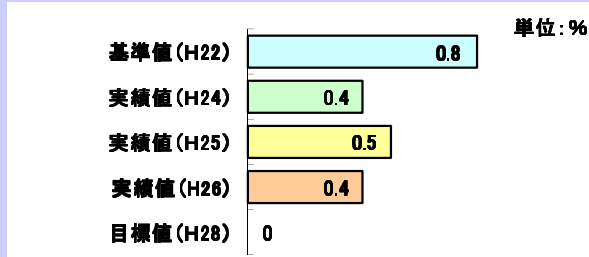
H26年度は、対象者333人に対して受診者が241人で受診率は72.4%であった。

政策2 教育環境の充実

家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりに取り組みます。また、校舎等の計画的な改修・耐震化を進めるとともに、給食センターの適切な管理など、安全・安心の教育環境づくりを進めます。

【093】不登校児童生徒率

(学校教育課)

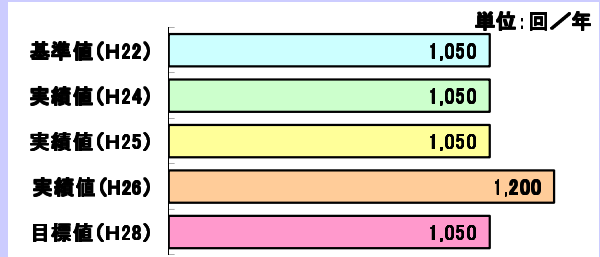


◎説明

連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする者を計上。不登校児童生徒数14名。在籍児童生徒総数3,635名。

【094】小学校(5・6年生)および中学校における外国語指導助手(ALT)派遣回数

(学校教育課)



◎説明

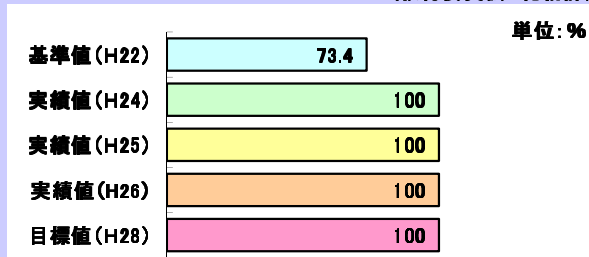
※目標達成!

小学校及び中学校へのALTの派遣回数。

【H26年度実績 200日×6名=1,200回】

【095】小中学校施設の耐震改修率

(教育委員会 総務課)



◎説明

H24年度において達成

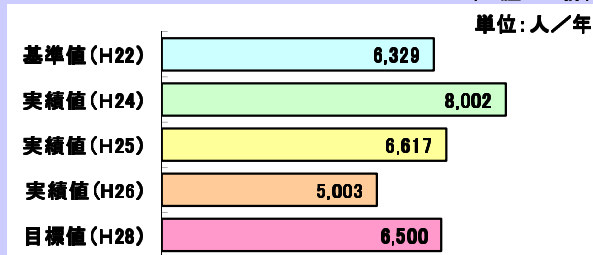
※目標達成!

政策3 生涯学習の推進

地域や学校と連携した地域ぐるみの育成活動や、読書活動の推進により、青少年の豊かな心を育むなど健全育成に努めます。また、市民の多様な生涯学習ニーズに応える体制づくりや教育環境の整備を進め、生涯学習社会の構築と、豊かな芸術・文化あふれる地域づくりを推進します。

【096】地域での体験活動等の参加者数

(生涯学習課)

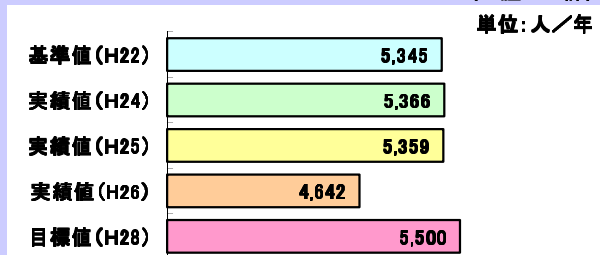


◎説明

子ども向けの体験型の講座を104回開催し、参加者は1,394人
放課後子ども教室を404回開催し、延べ参加者は3,609人

【097】生涯学習講座等受講者数

(生涯学習課)

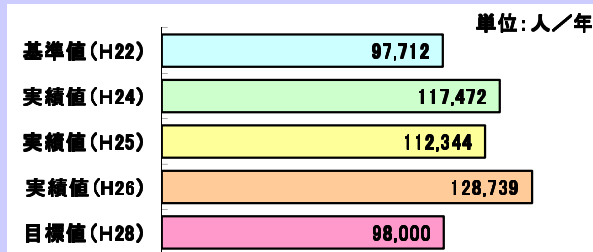


◎説明

生涯学習講座・公民館講座 176講座4,642人の参加者数となった。

【098】公民館利用者数

(生涯学習課)



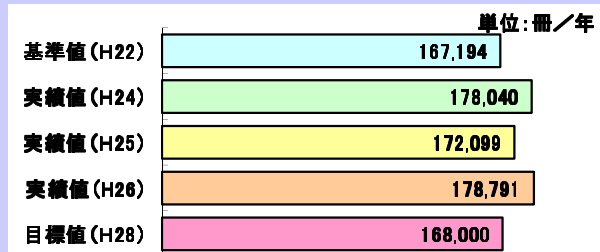
◎説明

※目標達成!

H26年度実績 (公民館利用者数)
瑞穂町 公民館 22,078人
愛野町 公民館 61,326人
千々石町 公民館 15,635人
南本町 公民館 (小浜) 29,700人

【099】図書貸出冊数

(生涯学習課)



◎説明

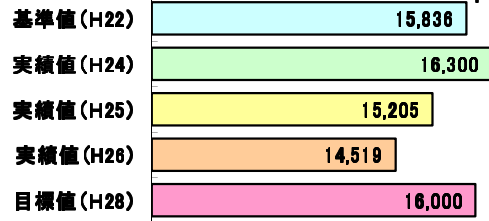
※目標達成!

H26年度実績 (図書館要覧抜粋)
雲仙市図書館 78,134冊、瑞穂図書室 8,498冊
吾妻図書室 10,947冊、愛野図書室 10,083冊
千々石図書室 11,219冊、小浜図書室 17,878冊
南串山図書室 6,121冊、移動図書館 35,911冊

【100】雲仙市図書館利用者数（生涯学習課）

（生涯学習課）

単位：人／年



◎説明

H26年度実績
図書館利用者数 14,519人

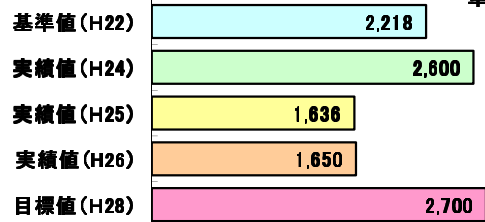
政策4 生涯スポーツの振興

市民の年齢や適性に合ったスポーツを奨励し、健康なからだづくりや、市民交流を推進します。また、施設の機能強化や利用機会の均等化を図るため、施設の改修・再編や管理体制の見直しに努めます。

【101】スポーツ教室参加者数

（スポーツ振興課）

単位：人／年



◎説明

H26長崎がんばらんば国体デモスポ行事として開催の雲仙アツマクロス競技大会や、健康・体力づくりの推進のための教室として、体力年齢がわかる体力年齢測定会や水泳教室、ウォーキング大会を実施した。

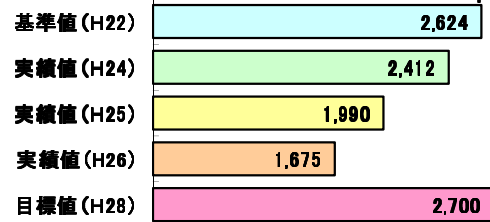
また、成長期のスポーツ障害予防等の知識習得と実践のための講習会などを開催した。国体開催年でもあり、全体的に昨年並みの参加者数で推移している。

- ・雲仙アツマクロス講習会（526人）
- ・体力年齢測定会（50人）
- ・スポーツ医科学講習会（562人）
- ・水泳教室（412人）
- ・ウォーキング大会（100人）

【102】雲仙市民スポーツ大会出場競技者数

（スポーツ振興課）

単位：人／年



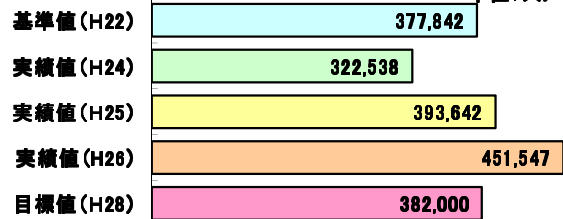
◎説明

雲仙市体育協会の協力のもと、競技人口の拡大、育成を行なったが、大会期間中悪天候による屋外競技種目の日程変更による参加者数の大幅な減や、出場チーム・構成員数とともに伸び悩みの状況が続き目標に達しなかった。

【103】スポーツ施設の利用者数

（スポーツ振興課）

単位：人／年



※目標達成！

◎説明

主に長崎がんばらんば国体競技の開催会場となった各施設で利用者数の大幅な伸びがあり、前年比で約58,000人の増となった。

減少施設は、みずほすこやかランド、国見総合運動公園で、故障等による休業期間の影響や、継続的利用団体の構成員の減が要因となっている。

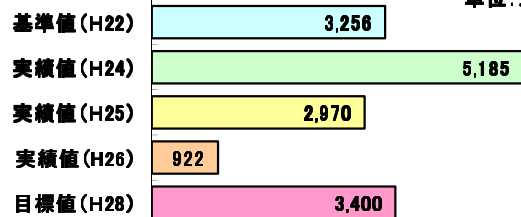
政策5 芸術・文化活動の推進

芸術文化鑑賞等の機会を提供しつつ、市民の芸術・文化活動の推進と発表の場の提供を行うことで、市民の豊かな人格形成と新たな地域文化の創造を目指します。また、文化施設の適正な管理や、利用促進のための情報発信を強化します。

【104】芸術文化公演や美術展への来場者数

（生涯学習課）

単位：人／年



◎説明

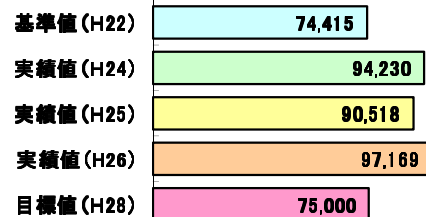
文化イベントへの参加者数

市内3ホール等を幅広く使用し、長崎がんばらんば国体PRにからんだ講演会などを計画。市民へのアンケート等も行い、より市民の希望にそった公演の実施に取り組み、中西哲生講演会、太鼓芸能集団鼓動交流公演ほか実施した。

【105】文化施設の利用者数

（生涯学習課）

単位：人／年



◎説明

※目標達成！

H26年度実績簿より各施設の年間利用者数

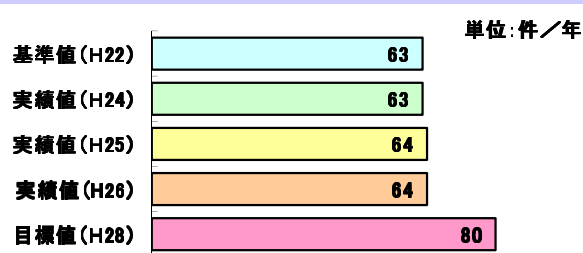
- 国見町文化会館 13,633人
- 吾妻町ふるさと会館 60,398人
- ハマユリックスホール 23,138人

政策6 歴史・文化を活かしたまちづくり

各種開発事業に伴い、市内遺跡・埋蔵文化財等の調査・保存を進めます。また、伝統的建造物の保全整備や、伝統芸能の保存、生活習慣、食文化等の継承を推進するとともに、文化財保存に対する意識啓発や活動の支援を行います。

【106】文化財の指定数

(生涯学習課)

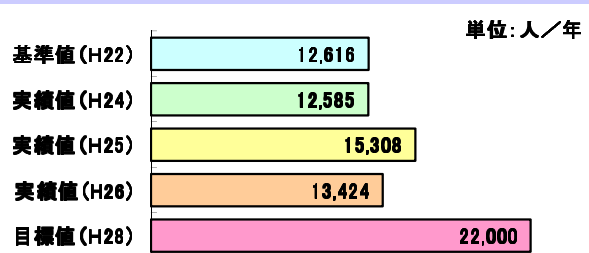


◎説明

発掘調査により出土した埋蔵文化財遺物の次年度文化財指定に向けて準備を行った。

【107】鍋島邸入場者数

(生涯学習課)

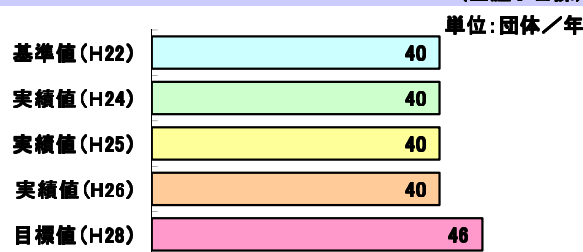


◎説明

緋寒桜の開花時期に雨が続いたことから年間入場者数は減少したが、年間を通じて企画展を開催し、地域イベントに施設を開放するなど活用に努めた。

【108】郷土芸能保存団体数

(生涯学習課)

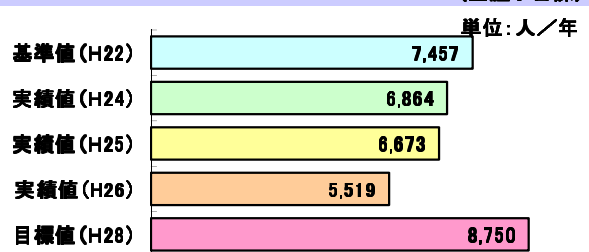


◎説明

豊作祈願など、第1次産業を基盤とした郷土芸能が多く、職種や生活スタイルが多様化した現代において伝承が困難になりつつある。国の助成制度などの活用を図り支援していく。

【109】歴史資料館入場者数

(生涯学習課)

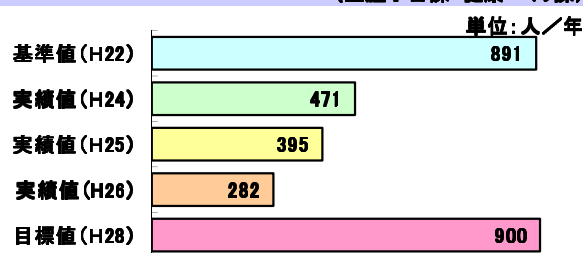


◎説明

南串山展示館 527人
小浜歴史資料館 1,893人
国見展示館 3,099人

【110】郷土料理教室参加者数

(生涯学習課・健康づくり課)



◎説明

公民館講座や食生活改善推進員による男のための料理教室や、地元の食材を利用した郷土料理教室など23講座を開催した。